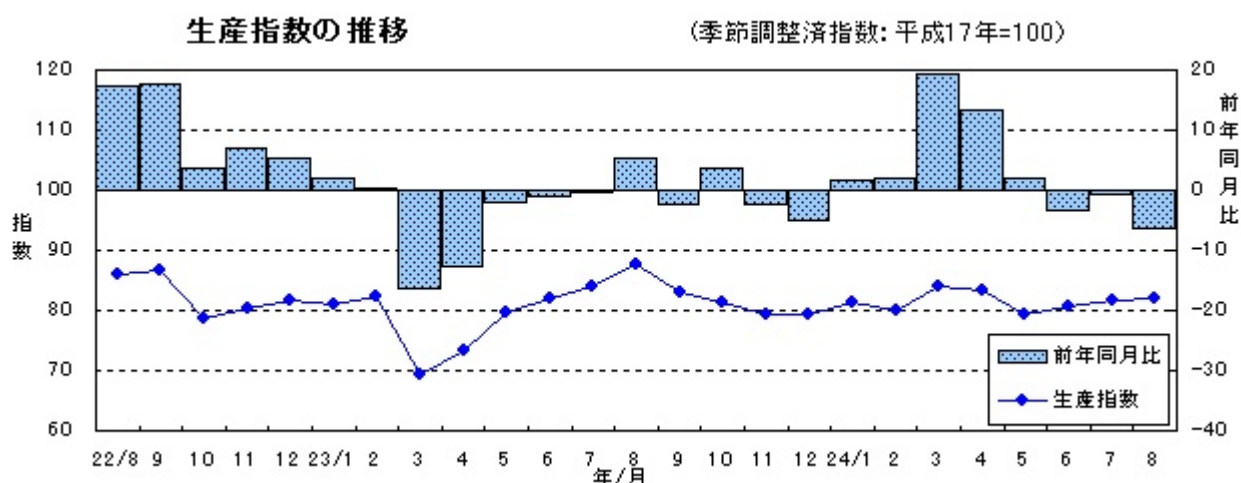


静岡県鉱工業指数 (平成24年8月分速報)

1. 生産の動き

前月比0.4%増(3か月連続して上昇)、前年同月比6.3%減(3か月連続して低下)

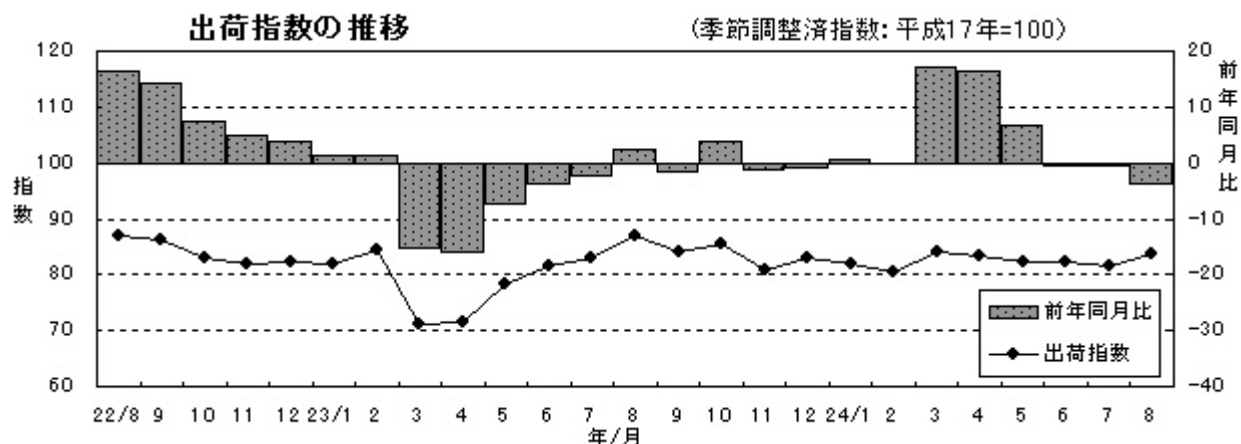
8月の鉱工業生産指数(季節調整済:平成17年=100)は82.1であった。
前月比(季節調整済指数)は0.4%増と3か月連続して上昇した。また、前年同月比(原指数)は6.3%減と3か月連続して前年を下回った。
業種別の前月比(季節調整済指数)では、輸送機械、窯業・土石製品、その他製品等が上昇する一方、化学、電気機械、精密機械等が低下した。



2. 出荷の動き

前月比2.7%増(5か月ぶりに上昇)、前年同月比3.6%減(3か月連続して低下)

8月の鉱工業出荷指数(季節調整済:平成17年=100)は83.8であった。
前月比(季節調整済指数)は2.7%増と5か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は3.6%減と3か月連続して前年を下回った。
業種別の前月比(季節調整済指数)では、輸送機械、食料品・たばこ、電気機械等が上昇する一方、化学、精密機械、窯業・土石製品等が低下した。



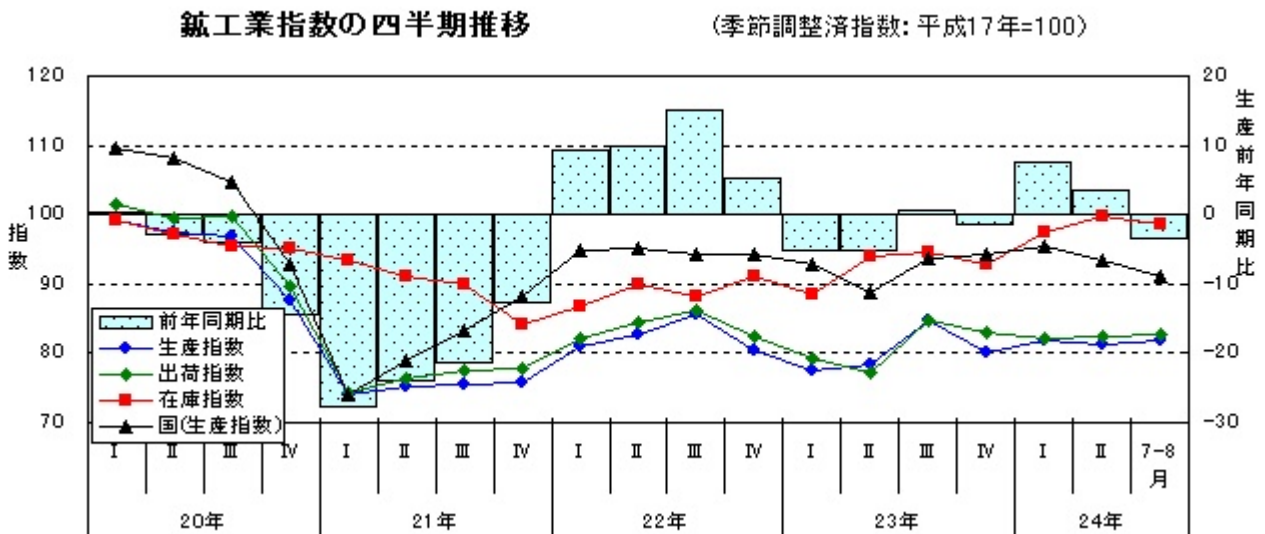
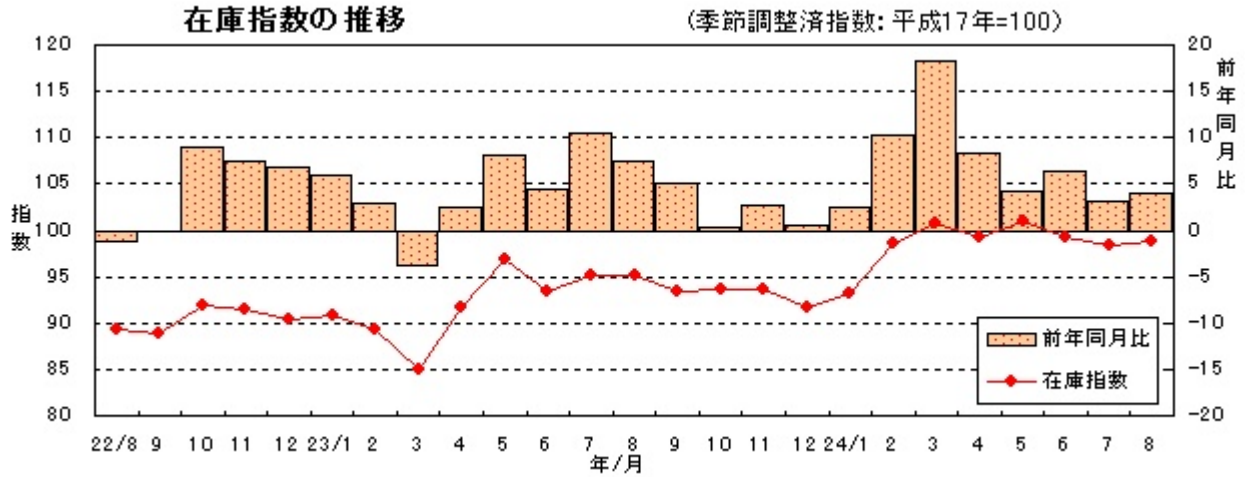
3. 在庫の動き

前月比0.5%増(3か月ぶりに上昇)、前年同月比3.9%増(17か月連続して上昇)

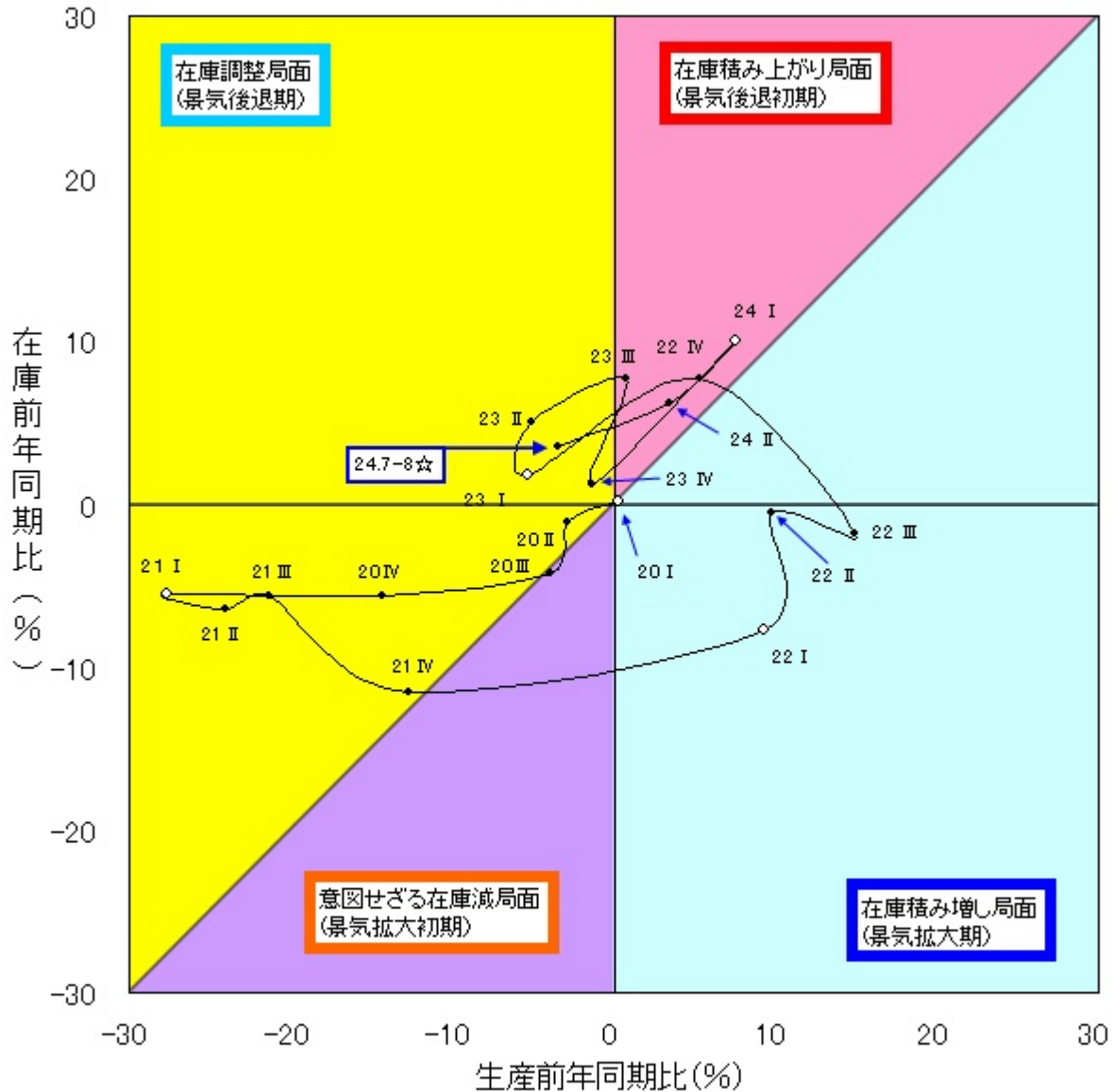
8月の鉱工業在庫指数(季節調整済:平成17年=100)は98.8であった。

前月比(季節調整済指数)は0.5%増と3か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は3.9%増と17か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、電気機械、その他製品、パルプ・紙・紙加工品等が上昇する一方、化学、食料品・たばこ、輸送機械等が低下した。



在庫循環図



- ・ **在庫積み増し局面 (景気拡大期)**
 需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- ・ **在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**
 供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- ☆ **在庫調整局面 (景気後退期) ← 7-8月はここに該当**
 適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- ・ **意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**
 需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。